

ショートプログラム参加報告書/Short Program Report

氏 名 / Name	
所属学部・研究科 / School/Graduate School	経済学部 / 研究科 (School/Graduate School) 2 年次 (Grade year)
学生番号 / Student ID	
留学先大学 / Host University	Universiti Tunku Abdul Rahman (国名/Country : Malaysia)
プログラム名称 / Name of Program	International Young Leaders Summer Programme 2025
プログラム期間 / Period of Program	From: 2025 年 8 月 21 日(YYYY/MM/ DD) To:2025 年 8 月 27 日(YY/MM/ DD)

1. 渡航について / Flight Information

出国年月日 / Date of Departure	2025 年 8 月 20 日 (YYYY/MM/ DD)
経 路 / Route	FUK - SIN - KUL
現地での出迎え / Pick-up at Destination	☒ 有 / Yes (大学関係者/ University Staff • その他/Other) ☐ 無 / No
帰国年月日 / Date of Return	2025 年 8 月 28 日(YYYY/MM/ DD)
経 路 / Route	KUL-BKK-FUK

2. 所要経費について / Expenses

所要経費 / Expenses	総額 / Total Amount	222620	円 / yen
	内訳 / Details	渡航費（往復） / Flight Ticket (Round Trip)	100320 円 / yen
		保険料 / Travel Insurance	4000 円 / yen
		宿泊費（住居費） / Accommodation Fee	0 円 / yen
		食費 / Meal Cost	8000 円 / yen
		その他費用(プログラム費) / Others ()	101800 円 / yen
		その他費用(eSIM) / Others ()	8500 円 / yen

3. プログラム参加を通じて得た成果等 / Feedback through Your Participation in the Program

- ・プログラム参加を通じて得た成果等を記入いただき、併せて HP に公開してもよい写真を 2~3 枚程度、貼り付けてください。（写真 1 枚当たりの容量は、500KB 以下に縮小して下さい）

私はこのプログラムに参加して沢山のひとと出会いました。最初こそ自分の英語力に対する不安と現地まで一人でたどり着けるのかなどの心配もあり、決して楽しい気持ちだけではありませんでした。しかし、現地の空港では担当のスタッフや UTAR の生徒、今回のプログラム参加者などが明るく迎えてくれて緊張が解けながらもプログラムがスタートしていきました。私はこのプログラムに参加して、第一言語ではない言葉を用いてコミュニケーションを図ることがとても楽しく感じる事ができました。マレーシアは多民族国家であり、マレー語が主に話されていて、加えて英語中国語も聞こえてきます。彼らの第一言語はもちろんマレー語ですがほとんどの人が英語も流暢な印象でした。中華系のマレーシア人はマレー語と中国語を話すため、英語は苦手なようで、そのためお互い第一言語ではない言語で日常会話から意思疎通を図ることはとても不思議で、伝わった時にはすでに仲良くなっているくらい英語で話すことが楽しくなっていました。しかしほとんどの人が 3 力国語を話していたため、私にとってはとても刺激的でした。また英語での発音が若干違っている人もいて、聞き取りづらい時もありました。ルームメイトは中国人の同い年の子で一日中英語しか使わない日もありましたが、それを成長の場と捉えて毎日過ごすことができました。最終日に行われた文化交流の会では浴衣を着て日本の伝統的な服である和服を紹介させていただきました。このような環境やプログラムを与えてくださった UTAR の職員や生徒の方々、出国のお手伝いなどをサポートしてくださった広島大学の職員の方々にはとても感謝しています。またこのような機会があれば積極的に参加していきたいと考えています。



注/Remark) 報告書およびその内容は、留学希望者への情報提供のため、HP への掲載、事務室での閲覧や、大学の留学情報案内の作成のために利用させていただきます。/This report and its contents will be uploaded on the HUSA home page, browsed at the administration office and used for information regarding study abroad at Hiroshima University in order to provide information to students who desire to study abroad.

書類提出先(Word 形式、メールにて送付) / Where to submit (as Word format, by E-mail) :

広島大学国際室国際部留学交流グループ (留学交流担当) / Global Exchange Group : kokusai-ryugaku@office.hiroshima-u.ac.jp

ショートプログラム参加報告書/Short Program Report

氏 名 / Name	
所属学部・研究科 / School/Graduate School	総合科学部 / 研究科 (School/Graduate School) 1 年次 (Grade year)
学生番号 / Student ID	
留学先大学 / Host University	(国名/Country : マレーシア)
プログラム名称 / Name of Program	IYLS
プログラム期間 / Period of Program	From:2025 年 8 月 21 日(YYYY/MM/ DD)~ To:2025 年 8 月 27 日(YY/MM/ DD)

1. 渡航について / Flight Information

出国年月日 / Date of Departure	2025 年 8 月 20 日 (YYYY/MM/ DD)
経 路 / Route	成田国際空港→クアラルンプール国際空港
現地での出迎え / Pick-up at Destination	有 / Yes (大学関係者/University Staff・その他/Other) 無 / No
帰国年月日 / Date of Return	2025 年 9 月 1 日(YYYY/MM/ DD)
経 路 / Route	クアラルンプール国際空港→成田国際空港

2. 所要経費について / Expenses

所要経費 / Expenses	総額 / Total Amount		円 / yen
	内訳 / Details	渡航費（往復） / Flight Ticket (Round Trip)	円 / yen
		保険料 / Travel Insurance	円 / yen
		宿泊費（住居費） / Accommodation Fee	円 / yen
		食費 / Meal Cost	円 / yen
		その他費用() / Others ()	円 / yen
		その他費用() / Others ()	円 / yen

3. プログラム参加を通じて得た成果等 / Feedback through Your Participation in the Program

・プログラム参加を通じて得た成果等を記入いただき、併せて HP に公開してもよい写真を 2~3 枚程度、貼り付けてください。
(写真 1 枚当たりの容量は、500KB 以下に縮小して下さい)

マレーシアの民族、宗教、そして文化の共生とその保存について理解を深めることができたのが今回の成果である。私は以前より民族や宗教、文化の多様性について興味を持っており、主にマレー系、中華系、インド系の民族とそれに紐づく宗教と文化が共生していると聞く、マレーシアについて学びたいと考えていた。

プログラムではマレーシアの民族や宗教、文化についての講義があり、基礎的な理解を深めることができた。また、UTAR の学生と食事の時間などを一緒に過ごすことで、疑問に思うことを質問することができた。マレーシアには主に 3 つの民族があり、マレー系の多くの人々はイスラム教を、中華系の多くの人々は仏教を、インド系の多くの人々はヒンドゥー教を信仰するなど、民族は宗教と強く結びついている。また各宗教が祝う祝日は他宗教も一緒になって祝うという。マレーシアで多民族、多宗教、多文化が共生する方法を知った一方、見かける人々の多くは、同じ民族同士で行動しているように見えた。UTAR の学生に聞いたところ、同じ民族が一緒に暮らすのは難しく、州ごとに民族の偏りがあるそうだ。その理由として、休日が異なったり、好みの食などが異なったりすることを挙げていた。一方で首都であるクアラルンプールは民族が入り混じっているという。これらから、複数の民族、宗教、文化の共生と共存、どちらの大切さについても知ることができた。

また、テクノロジーを使った文化の保存を研究する先生からの講義も受けた。文化をそのまま残すだけでなく、テクノロジーを使うことで新たな継承の仕方があることに気づかされた。

注/Remark) 報告書およびその内容は、留学希望者への情報提供のため、HP への掲載、事務室での閲覧や、大学の留学情報案内の作成のために利用させていただきます。/This report and its contents will be uploaded on the HUSA home page, browsed at the administration office and used for information regarding study abroad at Hiroshima University in order to provide information to students who desire to study abroad.

書類提出先(Word 形式、メールにて送付) / Where to submit (as Word format, by E-mail) :

広島大学国際室国際部留学交流グループ (留学交流担当) / Global Exchange Group : kokusai-ryugaku@office.hiroshima-u.ac.jp